

生産・保全現場の困りごと・課題に挑んだ改善事例が集結！

改善事例発表大会2025

中国・四国地域

2025年 6月 17日（火）開催 広島県情報プラザ

設備の
管理方法・
基準の見直し

デジタル
技術を
利用した改善

作業の
効率化・
容易化

設備の
信頼性向上

人財育成

現場最前線の改善事例から あなたの現場の改善ヒントに！

現場発DX/デジタル化 や センシング技術 など

これからの時代を担うモノづくり現場力を育むチャンス！！

発表会場：広島県情報プラザ 多目的ホール

発表企業

※ 企業名50音順、法人格略

旭 化 成

オリエンタルモーター

キーレックス

倉敷化工

サントリープロダクツ

住友化学

東レ

マ ツ ダ

ヨシワ工業

リョービミラサカ

発表数：10社11事例！ 発表事例数、年々増加中！！



今年度も、好評の“発表者との交流会”を開催！

質疑応答では聞けない詳しい情報交換（苦労話や失敗談も）ができます！

地域の企業間交流の活性化にも繋がりますので、ぜひご活用ください

イベントの詳細・お申込みは、

改善事例発表大会 公式サイト

<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>



全国設備管理強調月間とは？

経営者層をはじめ全従業員の設定管理への意識を高め、設備管理の重要性を広く認識いただくことで、産業界の生産性向上のみならず環境保全や事故、災害防止に寄与することを目的としています

中国・四国				2025年6月17日（火） 広島県情報プラザ（広島県広島市）			
時間		発表情報				※ 敬称略	
09:30▶		開場・受付開始					
10:00▶10:10		開会のあいさつ					
事例 1	10:10 ▼ 10:30	運転・製造	調整中			<発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化	
		ヨシワ工業株式会社 機械部					
事例 2	10:30 ▼ 10:50	工務・保全	設備信頼性向上と保全の成長 ～同期シャフト折損メカニズム解明への挑戦～			<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 人財育成	
		マツダ株式会社 本社工場 車体製造部 車体工務技術Gr 工務係 班長			児玉 仁		
事例 3	10:50 ▼ 11:10	運転・製造	塗装コンベアの省人化による生産性向上			<発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化 ● コストダウン	
		株式会社キーレックス 海田工場 第2製造Gr タンク組立職場 リーダー			船浪 公二郎		
11:10▶11:20		休憩					
事例 4	11:20 ▼ 11:40	運転・製造	包装工程安定化			<発表キーワード> ● 品質安定化・向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 設備の信頼性向上	
		旭化成株式会社 製造統括本部 水島製造所 セオラス製造部 製造課			福元 祐介		
事例 5	11:40 ▼ 12:00	工務・保全	アナログ職場のDX化			<発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化 ● デジタル技術を利用した改善 ● 人財育成	
		リョーピミラサカ株式会社 製造部 金型課 整備機械二係主任			池本 由美		
事例 6	12:00 ▼ 12:20	運転・製造	ビスケット厚不良ゼロへの挑戦			<発表キーワード> ● 品質安定化・向上 ● 自主保全 ● 設備の管理方法・基準の見直し	
		マツダ株式会社 本社工場 第3パワートレイン製造部 第1素材部 ダイキャスト係 職長補佐			大川 恵司		
12:20▶13:20		昼休憩（お弁当をご用意しております）					
事例 7	13:20 ▼ 13:40	運転・製造	感動工場実現のための結果系保証から要因系保証への挑戦			<発表キーワード> ● 品質安定化・向上 ● 作業の効率化・容易化 ● デジタル技術を利用した改善	
		倉敷化工株式会社 技術研究所 材料研究部係長			下采 真也		
事例 8	13:40 ▼ 14:00	運転・製造	組立工程バラつきロス低減			<発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化 ● 自主保全 ● 改善活動の水平展開	
		オリエンタルモーター株式会社 高松カンパニー 第2製造部 製造1課 組立グループ			川田 和樹		
事例 9	14:00 ▼ 14:20	工務・保全	ボイラー台数適正化によるGHG削減			<発表キーワード> ● コストダウン ● 環境・省エネルギー	
		サントリープロダクツ株式会社 天然水奥大山ブナの森工場 工務部門メンバー			坂上 慶次		
14:20▶14:30		休憩					
事例 10	14:30 ▼ 14:50		調整中				
		住友化学株式会社					
事例 11	14:50 ▼ 15:10	工務・保全	繊維生産設備の設備故障削減の取組み			<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 改善活動の水平展開 ● 人財育成	
		東レ株式会社 愛媛工場 工務保全課			豊田 翔平		
15:10▶15:20		休憩					
15:20▶16:20		発表者との交流会					
16:20▶16:35		全国設備管理強調月間 応募作品のご紹介					
16:35▶16:55		表彰式					

事例 1	調整中	事例 7	感動工場実現のための結果系保証から 要因系保証への挑戦
	ヨシワ工業株式会社 本社 機械部		倉敷化工株式会社 本社 技術研究所 材料研究部 係長 下采 真也 我が社ではお客様に感動して頂ける工場の実現に向けて様々な取り組みを行っている。品質領域に対しても活動を行っており、従来は不良発生後の流出防止や原因調査が主であったが、真因を捉えて未然に不良発生を防止することを目標に挑戦している事例を発表する。
事例 2	設備信頼性向上と保全の成長 ～同期シャフト折損メカニズム解明への挑戦～	事例 8	組立工程バラつきロス低減
	マツダ株式会社 本社工場 車体製造部 車体工務技術Gr 工務係 班長 児玉 仁 車体の品質を支えているセッター装置のWLレールを昇降させる同期シャフトが折損する故障が発生した。過去に同様の故障が発生しており、対策を実施したはずが故障を再発させてしまった。折損メカニズムを究明し再発防止対策をした事例を発表する。		オリエンタルモーター株式会社 高松カンパニー 香西事業所 第2製造部 製造1課 組立グループ 川田 和樹 組立工程では作業系自主保全のステップ展開を完了して、維持管理活動とさらなるロス低減活動を実施している。作業系自主保全のターゲットロスである『人による作業のバラつきロス』を、様々な切り口から改善した事例を発表する。
事例 3	塗装コンベアの省人化による生産性向上	事例 9	ボイラー台数適正化によるGHG削減
	株式会社キーレックス 海田工場 第2製造Gr タンク組立職場 リーダー 船浪 公二郎 減産化の中、台数変動にも柔軟に対応できる職場配員を目指している。タンク塗装ラインで工程統合による省人化を行い、負荷バランスを整え、効率の良い生産ラインを造り上げた改善事例を発表する。		サントリープロダクツ株式会社 天然水奥大山ブナの森工場 工務部門 メンバー 坂上 慶次 ボイラーの能力と蒸気の使用状況を照らし合わせ、蒸気使用量が増加するタイミングを把握。蒸気使用ピークのタイミングを低く抑えることができないか、蒸気の使用先である製造部門と共に検証を繰り返し、最適な運用へ見直しを行った事例を発表する。
事例 4	包装工程安定化	事例 10	調整中
	旭化成株式会社 製造統括本部 水島製造所 セオラス製造部製造課 福元 祐介 新工場立ち上げ時に、製品が包装されている段ボールの外観不良品が約1000ケース発生した。この問題を受け、包装担当者間で団結し、現状の問題点を洗い出し解決に向けて取り組んだ活動を発表する。		住友化学株式会社
事例 5	アナログ職場のDX化 ～なくせ手書き・手計算！！～	事例 11	繊維生産設備の設備故障削減の取り組み
	リョービミラサカ株式会社 製造部 金型課 整備機械二係 主任 池本 由美 金型の交換部品リストは手計算、手書きで作成している。これら手計算、手書きを無くすため、DX化によるリスト作成の効率化に加え、活動を通じてDX化を加速させていくための人材育成に繋がった事例を発表する。		東レ株式会社 愛媛工場 工務保全課 豊田 翔平 当該生産設備は2022年以降で設備故障が増加傾向にあった。類似の設備故障を起こさないために、その故障が発生したメカニズムを究明し、対策を実施することで、2024年の故障件数および損害額を改善した事例を発表する。
事例 6	ビスケット厚不良ゼロへの挑戦		
	マツダ株式会社 本社工場 第3 ^パ ワートレイン製造部 第1素材課 ^ダ キャスト係 職長補佐 大川 恵司 自職場ではハイプレッシャーダイカスト法でアルミ製シリンドーブロックを鋳造している。自主保全サークル活動の中で、工程内で発生するビスケット厚不良のゼロ化を目標に対策に取り組んだ事例を発表する。		

改善事例発表大会2025は、全国7地域で開催！！

地 域	開催日	会 場
東北・北海道	6月20日(金)	多賀城市文化センター
関 東	6月25日(水)	曳舟文化センター
北 陸	6月11日(水)	富山国際会議場
中 部	6月27日(金)	ポートメッセなごや
関 西	6月13日(金)	京都テルサ
中国・四国	6月17日(火)	広島県情報プラザ
西 日 本	6月19日(木)	海峡メッセ下関

各地域の詳細は、改善事例発表大会公式サイト をご覧ください<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>

参加お申込み

改善事例発表大会公式サイト<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>
の“参加お申込み”から



参加料（左：10%税込み価格、右：本体価格）

会員価格※1	¥19,250- /名 (¥17,500- /名)
一般価格	¥25,850- /名 (¥23,500- /名)
TPM経営者 懇話会会員価格※2	ご 招 待

- 上記料金は、1会場あたり1名で参加する場合の料金です
- 参加料には、昼食・テキスト（資料）代が含まれています
- ※1 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会（正会員・事業所会員）、もしくは一般社団法人日本能率協会（法人会員・協賛団体会員）の会員であることが必要です
会員ご入会の有無は、下記のWEBサイトにてご確認ください
・公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
<<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>>
・一般社団法人 日本能率協会
<<https://list.jma-member.com/>>
- ※2 TPM経営者懇話会会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 TPM経営者懇話会の会員であることが必要です

会員以外の方は、
この機会にぜひ当会会員へのご入会をご検討ください

参加申込方法・参加料支払方法

- 派遣窓口ご担当者、および参加者が「参加申込み規定」に同意したうえで、上記のWEBサイトよりお申込みください。FAXでのお申込みはできません
- 複数名でのご参加をご希望の場合も、上記のWEBサイトに一括お申込みが可能です
- 開催日にご持参いただく受付票は、開催日2週間前に参加者のメールアドレスへ送付いたします。メールアドレスを持っていない参加者は、派遣窓口ご担当者のメールアドレスをご登録ください
- お申込みの際は、本紙ならびにお申込みWEBサイトに記載の注意事項の内容をよくご確認ください
- 参加申込みは、開催直前まで受付いたしますが、テキスト（資料）・昼食（お弁当）などご用意できないこともございますので、お早めにお申込みください
- 参加料の請求書は、開催日2週間前より派遣窓口ご担当者のメールアドレスへ送付いたします。請求書に記載の入金期日・銀行口座にお振込みください。なお、振込に関わる手数料は貴社にてご負担ください
- キャンセル規定
開催当日～7営業日前の参加取消し：参加料全額
※2025年6月10日(火)よりキャンセル不可
※キャンセル・変更の申し出は、以下URLよりお願いいたします
<<https://info-jipm.jp/contact/>>
お問い合わせ> イベント申込み後のお問い合わせ

- 録音・録画・撮影、およびSNSへの投稿は禁止です。守られなかった場合、著作権・肖像権侵害として対処することがございます。また今後の参加をお断りすることがございます
- 免責事項
天災地変や伝染病の流行、大会会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の当会が管理できない事由により大会内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます
- 個人情報に関する取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、当大会の運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ（<https://www.jipm.or.jp/>）をご覧ください

お問い合わせ先

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 普及推進部

TEL：0120-451-466（または、03-6865-6081） E-mail：EVENT@jipm.or.jp